

## 野生鳥獣保護管理技術者育成研修(カワウ)講義資料

この講義資料は、下記の研修のために使用されたものです。

そのため、情報が古い場合があります。

また、Webでの掲載のために一部修正や削除、構成の変更をしているものがあります。

---

### 2004年度 野生鳥獣保護管理技術者育成研修(カワウ)概要

対 象: 都道府県の鳥獣行政担当者、水産行政担当者、内水面漁業関係者、その他  
カワウの保護管理、調査、被害防除に関わる者

開 催 日: 2004年11月16日(火)～11月18日(木) 2泊3日

場 所: 厚木アーバンホテル(神奈川県厚木市)

講師と科目: 横山昌太郎(鳥獣保護法と特定鳥獣保護管理計画の概要)

: 福田道雄(カワウの生態と保護管理)

: 須川恒(カワウの保護管理の基本的考え方)

: 羽山伸一(野生動物の広域保護管理と今後の進め方)

: 加藤ななえ(カワウの生態に関する調査及びモニタリングの技術指針)

: 高木憲太郎(生息環境と被害に関する調査及び対策のモニタリング)

: 渡邊芳明(神奈川県におけるカワウ対策の取り組みについて)

: 戸井田伸一(酒匂川におけるカワウの漁業被害対策)

: 蓮尾純子(行徳鳥獣保護区のカワウコロニー)

: 戸井田伸一(被害金額の試算例)

野 外 実 習: 相模川(神奈川県) ねぐらでの個体数カウント

現地説明者: NPO 法人バードリサーチ

---

## 酒匂川におけるカワウの漁業被害対策

神奈川県西湘地区行政センター 農政部水産課  
戸井田 伸一

酒匂川は神奈川県西部を流れ相模湾に注ぐ約46km、流域面積582km<sup>2</sup>の2級河川であり、アユの友釣りや冬期のウグイ・オイカワ釣りが盛んである。近年、カワウが多数飛来するようになり、生息魚類の減少や、放流したフナやアユの増殖効果が減ることについて苦情が年々増加している。

酒匂川漁業協同組合（以下「漁協」と略す。）では様々な追い払い策を実施してきたが、効果は体感できていなかった。2004年2月に日本野鳥の会神奈川支部の方々から「カワウの食害で漁協の人が困っていると聞いた。我々にお手伝いできることはないか」との提案があり、共同でカワウ対策を行うこととした。

2月27日、漁協関係者（釣り人含む）と行政、日本野鳥の会等合計12名による打ち合わせ会を行い、現状把握と対策について話し合いを行った。当面の対策として「遡上期を迎えるアユをカワウから守るために、案山子をアユが滞留する場所に設置すること」が確認され、漁業者と野鳥の会有志等による案山子の作成と設置（遡上できないアユが滞留し食害にあっていた魚道下に3体設置）を行った。案山子の材料は廃材及び軍手、空き缶など漁協倉庫内にあるものを流用し、新規購入は雨具（100円/個）と釘だけであった。案山子による効果は、組合長と地元の日本野鳥の会メンバーが1ヶ月間ほぼ毎日観察を行い把握した。

案山子の設置後は魚道付近の摂餌や休息がなくなり、当初の目標である魚道付近のアユを守ることはできたが、飛来数自体は減少せず、カワウは別の場所で摂餌していた。その後、カワウの飛来場所ごとにCDを吊した針金と案山子を設置するなど状況に応じて新たな対策を併用することにより、カワウの飛来数が減少していた。

4月16日、案山子対策の報告会を行い、カワウ対策の効果と問題点について検討した。案山子の効果が河川全域に及んだことと案山子の破損や盗難、いたずら対策等について話し合った。検討した内容について、案山子の修繕や案山子の説明の備え付けなど実行に移された。

従来、漁協ではカワウ対策を実施しようとする、野鳥の会が妨害するという認識があった。今回のカワウ対策は、野鳥の会からの呼びかけに応じた形で漁協と共にカワウ対策を検討し、一緒に実施できたこと。さらに話し合いを通じて野鳥の会との誤解を解消すると共に、助言を受け入れてカワウ対策を柔軟に実施した漁協の取り組みは高く評価される。

今回の取り組みでは、組合長自身が毎日のようにカワウを観察したことにより、案山子の効果についての情報が組合員に随時提供され、カワウの動態に関心が高まっていた。このことは組合員が精力的にカワウ対策を行う糧となったと思われる。

現在 カワウは、生息域を広げているところである。カワウの個体数を抑えることは非常に難しい状況の中、分布域を広げないようにすることが大事だと思われる。酒匂川のように流域に罅ができていない状態であれば、カワウの追い払いは比較的容易であるので、今までいなかったところにカワウが飛来し始めたらできるだけ早い時期に追い払いを行い、カワウを定着させない努力が必要であろう。



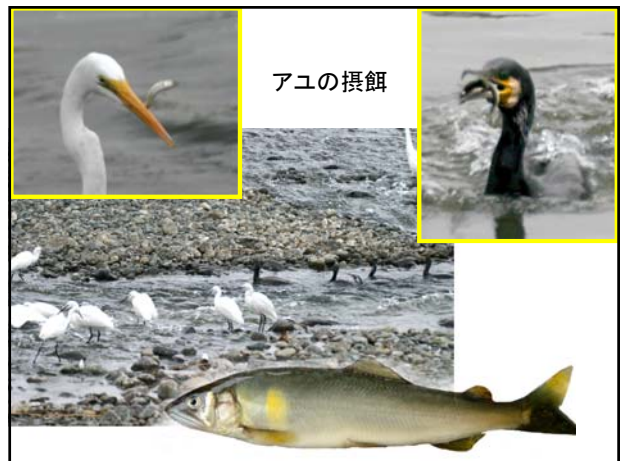
**カワウ対策打合せ** (平成16年2月27日)  
(漁協、野鳥の会等、内水試、行政C)

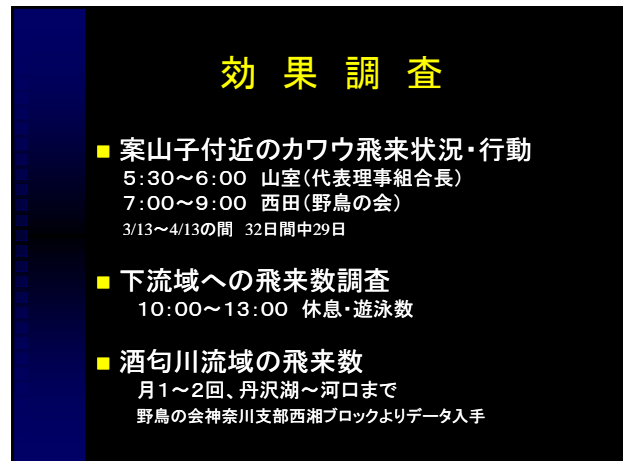
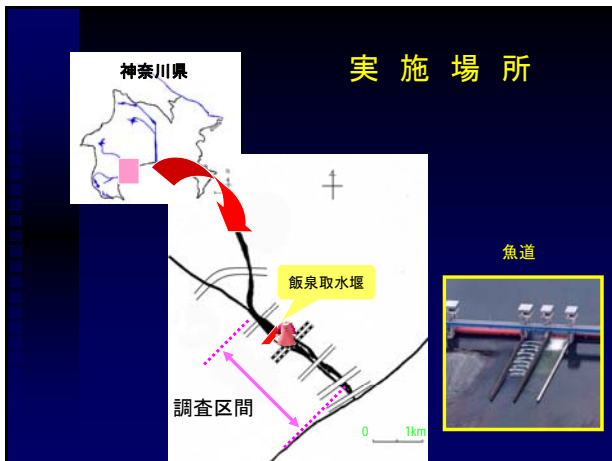
カワウによる被害

1. 放流した魚を食い荒らす
2. 遡上したアユを群れて食害している
3. 産卵のために下流へ集まったアユを食害している
4. ウグイやオイカワが激減した
5. 釣り堀区画でフナが釣れなくなった

**当面の目標!**

魚道の下に群れているアユを保護する





## 案山子

2004年 3月12日



## 案山子(2)

2004年10月16日



## 制作費 (1体当たり)

品目	金額	
カップ	200円	参加者より寄贈
角材・ベニヤ	0円	廃材利用
帽子・CD・軍手 新聞・袋等	0円	寄贈(古)
消耗品	50円	釘、ロープ、針金等
人件費	0円	ボランティア(理事も)
合計	250円	

10月は、カップを1体当たり1つに削減、茶菓は組合持ち

## 案山子の効果



カワウがいなくなった

3/12



12日以降  
赤穂の上流中州へ移動  
14日からは  
JR鉄橋の上流に移動

## 案山子設置前



2004年3月10日

## 案山子設置翌日

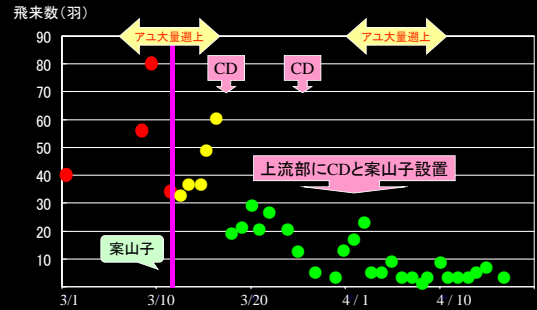


2004年3月13日

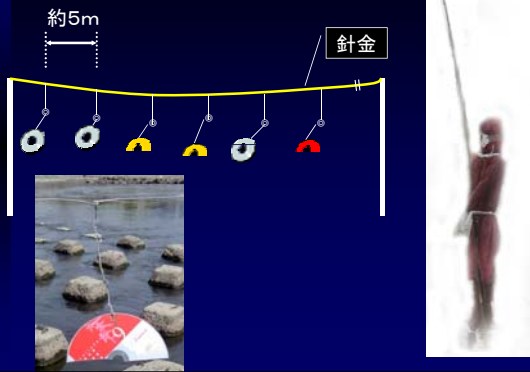
### 案山子設置後の飛行経路の変化



### カワウの飛来数変化 (下流域)



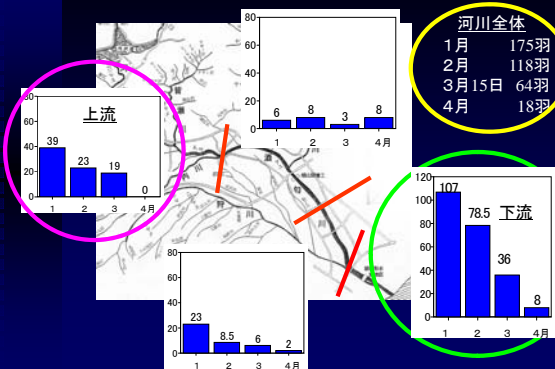
### CDによるカワウ避け



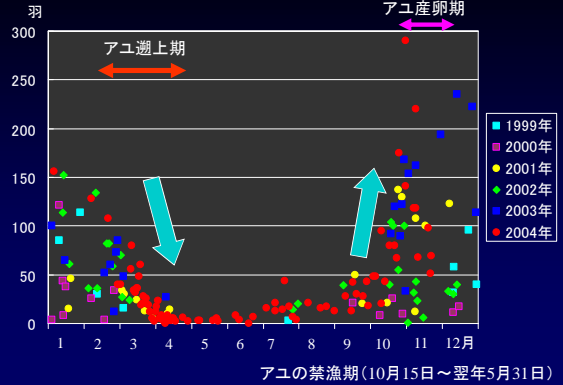
### 案山子とCD



### 酒匂川全域のカワウ飛来数



### 酒匂川下流域における月別カワウ飛来数



## サギ類には効果なし



## 効果は持続せず (相模川)

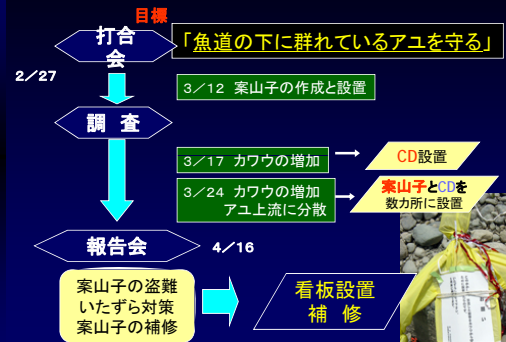


20日間、200m

## カラス人形



## カワウ対策の実施経過



## カワウ対策の継続

- **モニタリング** (飛来数、ねぐら、被害、生息魚類)
- **局所的かつ継続的な対策(追い払い等)**  
(守りたいものに優先順位を付ける)  
地元の関係者による取り組み
- 県民・漁業者の理解を得るために  
**カワウの飛来や防除効果等情報の共有が重要**  
(行政、漁業協同組合、野鳥の会・NPO等)  
行政機関の正確な情報開示と透明性の確保、記録の保存

## 地元関係者との連携による継続的な追い払い

